

広報

としま

12 令和2年
月号
No.1904

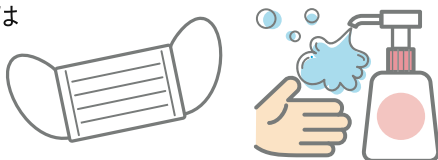
特集版

シリーズで高野区長の
特別対談を掲載します

若いチカラとともに活気ある
未来都市「としま」を創る

感染対策にご協力をお願いします

外出時は症状がなくても屋内や会話時にはマスクを着用し、人との間隔は可能な限り2メートル以上空け、できるだけ正面での会話を避けるようにしましょう。
家に帰ったらまず手や顔を洗い、手洗いは30秒程度かけ、丁寧に洗いましょう。
熱や咳などの症状がある方は、無理せず自宅で待機しましょう。



豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

暮らしと仕事^{カミ}が共にあるまちを目指して



株式会社タイミー
代表取締役

小川 嶺



豊島区長

高野之夫

2020年7月、池袋の商業オフィスビル、Hareza池袋に23歳の立教大学生、小川 嶺さんが社長を務める株式会社タイミーが移転してきました。同社が提供する「Timee.(タイミー)」は、「働きたい」「人手が欲しい」というニーズをマッチさせるスマートフォン・アプリ。働き手は空いた時間を活用してバイトができ、事業者は短時間でも人手を獲得できます。テクノロジーの力によって人手不足解消に貢献するサービスを世に送り出した若き経営者と、まちづくりをリードしてきた高野之夫区長が世代を超えて豊島区の未来について語り合います。

profile

小川 嶺(おがわりょう) …1997年、東京都生まれ。立教大学に進学後、起業への挑戦を経て、2018年スマホバイトアプリ「Timee.(タイミー)」を発表。膨大な数のユーザーを獲得するとともに、大企業や投資家からも評価を受け、成長を続けている。現在、立教大学経営学部在籍。

消滅可能性都市のピンチが原動力に

高野 小川さんに最初にお会いしたのは、タイミーがHareza池袋に移転してきた今年の7月でした。若くして苦難を乗り越え、事業を発展させていることにも驚きと興味を持ち、私の方からお会いしたいとお願ひしました。
小川 区長自ら、弊社のような若い会社を訪問していただけるなんて驚きました。
高野 そして、立教大学の後輩でもありましたね。池袋には以前からよく来ていましたか？
小川 中学と高校が立教新座でしたから、立教池袋でサッカー部の練習試合をして、帰りはバッティングセンターに行ったり、池袋で遊びました。私は23歳ですから、ここ10年ですね。
高野 私は22年区長をやっていますから、ほぼ小川さんが生まれた時からですね(笑)。
小川 この10年で池袋は大きく変わったと感じていました。昔は治安が良くない印象で、両親からも「池袋では夜遅くまで遊ぶな」と言われました。立教大学に通い、池袋で遊ぶようになっ

て、1年ごとにまちがきれいになっていった。住みやすく、安全・安心なまちです。まちってこんなに変わるんだ！というのが正直な感想でした。
高野 池袋はかつて「怖い、暗い、汚い」という印象がありました。それは池袋が戦後の闇市から発展したからです。そして、闇市の撤退が東京で一番遅かった。僕は池袋の西口で生まれ育ったから、池袋の悪いイメージをなんとか変えたいと政治の世界に入りました。区長をやりながら少しずつ変えていきました。
小川 近年の変化は目覚ましく感じます。変化を加速するきっかけは何だったのですか？
高野 2014年に23区で唯一、「消滅可能性都市」の指摘を受けたことです。これは本当にショックだった。でも、これまでのまちづくりではまちは変わらないと実感しました。このピンチをチャンスに変える。どんなまちにすればよいか。当時、将来的に女性の人口が大きく減少する推計がありました。女性に優しいまち。子育てしやすいまち。その実現は至難でしたが



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



挑戦しました。保育園を増やし、若いファミリーを呼び込む。そこに予算を投じました。その後、2020東京オリンピック・パラリンピックをめぐりにまちを変える23のプロジェクトを立ち上げ、集中的に実施する施策を推進しました。
小川 ずっと高野区長にしか見えていなかった世界があったのですね。でも、まちづくりは多くの人々が同じ方向を見ていなければ実現しません。一致団結できる要因は何ですか？
高野 「オールとしま」で取り組むことです。常に地域の人々と接点を持ち、その方々とまちづくりについて語り合い、まちの人が主役になるにはどうすればよいかを考えてきました。そして、消滅可能性都市。豊島区が大きく変わっていくチャンスは今しかない、みんなでまちを変えていこうと呼びかけていったのです。
小川 ご自分の生まれ故郷を良くしたいというストーリー。ストーリーはとても大切です。そして、みなさんの意見を聞き、それをかたちにした姿勢が人々を巻き込んでいったのですね。
高野 小川さんがタイミーの事業を始めたきっかけは何だったのですか？
小川 3年ほど前、私はお金がなくて、空いた時間にすぐに働き先を見つけられるスマートフォンのアプリがあればいいなと考えました。そう思うと、色々な声が聞こえてきました。一時期アルバイトをしていたコンビニの店長さんが「ずっとバイトがいなくて休んでいるんだよ」と言っていたこと。立教大学の友人が本当にお金に困っていて、すぐにでも働ける仕事を探したいと言っていたこと。じゃあ、自分で作ってみようと思ったのです。
高野 お金儲けが目的ではなかったのですね。
小川 目の前にいる方々を救うにはどうすればよいか。そう思いながらサービスを開発してきました。アプリなんて作ったことないから、プログラミングの勉強からでした。でも、運も良かった。それには感謝していますね。

笑顔があふれる職住一体のまちへ

小川 私はオフィスの周辺では住みやすさ、暮らしやすさも大切だと思っています。それが叶うのが豊島区です。今後、豊島区に若い企業が集まってくると思います。
高野 それでも渋谷から池袋に移転するのは相当な勇気が必要だったのではないですか？
小川 私は今、区内に住んでいます。池袋で働き、区内に住む。豊島区であればそれが実現しやすいです。豊島区で住んでいる方々はとても生き生きとした顔をされています。公園に行けば、ファミリーと子どもたち、カップル、シニア世代などいろんな方々がいて、「日本人ってこんなに公園が好きだった？」と思うくらいです。
高野 職住一体のかたちですね。本当に豊島区のまちづくりを理解していただき、うれしいです。新宿や渋谷には大企業が多くあり、駅を中心に大きなビルが開発されています。でも、池袋は中小企業のまちです。豊島区に仕事があり、暮らしがある。そういった方々が楽しくなるまちをつくるために、4つの公園を整備しました。
小川 その発想も良かったんですね。

公園でSDGsの活動を

高野 豊島区はSDGs未来都市とモデル事業に、都内で唯一選定されている自治体です。今、公園を拠点とした活動も展開しています。小川さんはSDGsについてどのようにお考えですか？
小川 SDGsは企業経営では視野に入れるべきこととして意識しています。思うのは良い事業にはSDGsの項目を満たすことがしっかりと入ってくるということ。世のため人のために企業活動をすれば、SDGsにも自然と対応していけると考えます。貧困解消、ジェンダー平等、経済成長、不平等解消など世界共通の課題にぜひ取り組んでいきたいです。ところで、公園の

整備とSDGsはどちらが先だったんですか？
高野 公園の整備です。豊島区は外国人の割合が多く、多様性と文化が豊かな誰もが主役になれる「国際アート・カルチャー都市」を目指してきました。その考えとSDGsは一致すると考え、国の選定事業に立候補したのです。公園ではSDGsに関連したイベントもやります。サンシャインシティに隣接する「としまみどりの防災公園 (IKE・SUNPARK)」では、週末に「ファーマーズマーケット」を計画しています。埼玉県の新鮮な野菜を育てる農家、豊島区内にある名店、そして区と友好関係にある85の自治体に参加を呼びかけています。地域の買い物の不便を解消するとともに、環境や食品ロスの問題を考える場になればと思います。ぜひ協力してください。
小川 もちろんです！タイミーでは空いた時間で働けるマッチングシステムを提供していますから、イベントに必要なスタッフを区民から募集できます。特に地方からの出店者は東京に来るのが大変です。商品だけを送って販売できればきっと助かるでしょう。
高野 今、野菜はきれいに包装されて売られています。子どもたちに泥のついた野菜を見せて、どのように育つかも教えてあげたい。
小川 売るだけでなく、子どもたちに土に埋めた大根を引き抜かせてあげたり、野菜の料理教室を開いたり、色々なことを企画したいです。
高野 いいですね。小川さんの若い発想が豊島区には絶対に必要です。一緒に仕事をして、共に成長していきましょう。
小川 ありがとうございます！

イメージキャラクターの「タイミーせんしゅ」。モチーフは「世界一幸せな動物」と言われるクアッカワラビー。





＼SDGs目標3／
すべての人に健康と福祉を

だれもが安心して 住み続けられる まちへ

以前より地域とのつながりが感じられず、不安に思ったり、ひとりで悩んでいませんか？
区では高齢者や障害のある方が安心して健やかに暮らせるよう、様々な取組みを行っています。

健康管理をサポート！

ポイントが貯まります！スマホを活用した健康管理、始めてみませんか？

区内在住、在勤、在学の方を対象に、KDDI(株)が開発するスマートフォン用健康管理アプリ「ポケットヘルスケア」を活用した実証事業を行っています。実証期間中は健康イベントへの参加などでポイントが貯まり、各種ギフトの抽選ができます。さらに、ポイント獲得数の上位者には豊島区から「としま健康マイレージカード」をプレゼント。アプリや実証事業の詳細は、KDDI(株)の特設ホームページ(右記2次元コードから読み取りも可)参照か問い合わせください。

活用方法 ●日々の運動・活動を管理、グラフで確認 ●健康診断の結果を取り込み、生活習慣病のリスクを表示 ●カラダの気になる症状について、AIがサポート ※このほかにも、段階的に機能を拡充していきます。

図 総合高齢社会対策推進室 ☎4566-2426



障害者の活躍をサポート！

障害者サポート講座をご家庭で！

例年区民ひろばなどで開催している「障害者サポート講座」を豊島区公式YouTubeチャンネル内で配信しています。身体(聴覚・視覚)・知的・精神障害のある方への支援方法や手話ソングなどを学ぶことができます。



◀としまなまるチャンネル

「マスクをつけられません」 バッジを作成しました

障害特性などによりマスクの着用ができない方への理解が進まない現状を受け、マスクを着用できないことを表示するバッジを作成し、配布を行っています。バッジのデザインは目白生活実習所・福祉作業所「メジロック」が手掛けています。◇配布場所…障害福祉課、心身障害者福祉センター ※バッジの数に限りがあります
図 当課管理・政策推進グループ ☎3981-1766



12月3～9日は「障害者週間」です

毎年12月3～9日は「障害者週間」として定められています。豊島区では、障害者への理解や差別の解消、手話をはじめとする様々な意思疎通方法の普及を進めています。また、例年障害者週間に合わせて開催している「ふくし健康まつり」は中止のため、参加予定だった事業所などを12月3・4日放送のとしまテレビで紹介します。

色とりどりのマスクを販売中

区内の障害者施設では、こだわりのデザインや、使って楽しい雑貨をたくさん製作しています。新型コロナウイルス感染拡大防止としてマスクの着用が推奨される中、各事業所も工夫を凝らした様々なデザインのマスクを製作し、販売しています。各事業所のほか、区役所本庁舎4階カフェあいでも販売しています。



▲障害者の方が作った手作りマスク

みんなで力を合わせて布の裁断、ゴム通し、ラッピングなどの作業をしています。素材は肌触りがいい布、乾きやすい布、UVカットの布などを使っています。季節や流行をとりいれたり、小さめのマスクも作ったりと色々な人を選んでもらえるよう工夫しているので、ぜひ好きなマスクを見つけて使ってみてくださいね。

図 駒込福祉作業所 ☎3910-2670



▲製作の様子

高齢者の困りごと・ 心配ごとをサポート！

9月の敬老の日に合わせて、 「往復はがき」をお届けしました！

新型コロナウイルスの予防啓発と、困りごとをお伺いするために、区内在住の75歳以上の方へ往復はがきをお送りしました。返信面で困りごとを「高齢者総合相談センター」に相談できるようになっています。「気になることがあるけれど、どこに相談したらいいかわからない」「介護保険の手続きについて知りたい」など、日常的な困りごとをお気軽にご相談ください。いただいたはがきには順次ご連絡しています。

※往復はがきは1月にもお届けを予定しています！



高齢者の身近な相談窓口！ 「高齢者総合相談センター」

高齢者総合相談センターは区内に8か所あります。困りごとがあるときはもちろん、元気な生活を送るための地域の情報をご案内しています。お気軽にお住まいの地域の高齢者総合相談センターへご連絡ください。詳細は区ホームページ(右記2次元コード)参照か問い合わせください。

図 高齢者事業グループ ☎4566-2432



安心できる住まいを サポート！

高齢者・障害者などの 住まい探しを支援します！

① 民間賃貸住宅の情報提供

住まいを探すことに困っている高齢者世帯、障害者世帯等に対し、不動産店のリストなどを提供し、新たな住まいを探す支援を行っています。

② 身元保証代替制度

新たな住まいを契約する際に、身元保証人を確保することが難しい高齢者世帯、障害者世帯等の方に対し、保証会社等を紹介しています。なお、要した経費の一部を助成する制度もあります。

③ 同行サービス

高齢者世帯、障害者世帯等の方が住まいを探す場合、本人の希望により区と協定を結んだ団体の職員が同行して、民間賃貸住宅を探すことや入居の手続きなどの支援を行っています。

転居が必要な場合も ご相談ください！

民間賃貸住宅に居住している方で、取り壊しや身体の障害などにより、現在の住宅に住み続けることが難しくなり、転居することが必要となった高齢者世帯、障害者世帯等の方に対し、新たな住まいの家賃を一部助成しています。なお、特に緊急に住宅の確保を必要とする場合には、区が借り上げている民間のアパートを提供できる場合(安心住まい提供事業)があります。各制度の詳細は問い合わせください。

図 住宅課相談グループ ☎3981-2683



令和3年度学童クラブ 利用申請について

●対象…区内在住または区立小学校に在学で、保護者の就労、疾病などにより放課後の保育に欠ける児童※保護者の就労時間などの利用条件あり。

●実施施設…子どもスキップ22施設(各小学校区に1か所ずつ)
※詳細は区ホームページの施設一覧(右記2次元コードから読み取りも可)参照。



●利用時間

	基本	9時前	延長
授業のある日	放課後～午後6時 (土曜日は午後5時まで)	午前8時15分～9時	午後6～7時 (平日のみ)
授業のない日	午前9時～午後6時 (土曜日は午後5時まで)		

※9時前、延長利用は要申請(条件あり)。

※日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休業。

●利用料…基本/月額4,000円、9時前利用/月額1,000円、延長利用/月額1,000円

※いずれも所得などによる減額・免除制度あり。午後5時以降利用する方で、間食を希望する場合は、別途月額1,000円が必要。

●申込方法

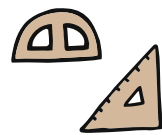
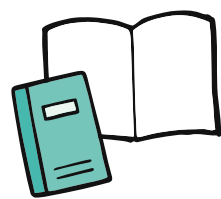
・申請書類…各学童クラブで配布しています。

・受付…以下の期間に、希望の学童クラブに申請書類を提出してください。

・申込み期間…学童クラブ在籍者/12月23日(休)まで、新規利用希望者/令和3年1月4日(月)～18日(月)

※利用児童と保護者の面談あり。要予約。受入れ人数などは各学童クラブに問い合わせてください。

☎放課後対策課児童支援グループ ☎3981-1058



冬季も注意が必要です!

ノロウイルス・O157食中毒を予防しましょう

冬季は、流行性胃腸炎の流行に伴い、ノロウイルス集団食中毒が急増し、12～1月にピークとなります。また、本年増加傾向の腸管出血性大腸菌O157も重症化する場合があり、要注意です。
☎生活衛生課食品衛生グループ ☎3987-4177

ほかと違う食中毒の特徴

ノロウイルス

強い感染力をもつウイルスです。ごく少量でも手指や食品などを介して口から入ると、人の腸内で増殖し1～2日後におう吐、下痢、発熱などを起こします。多くは2～3日で回復しますが、小さな子どもや高齢者は脱水症状を起こしたり、おう吐物をのどに詰まらせる危険性があるので特に注意が必要です。また、感染者のおう吐物や便には大量のノロウイルスが含まれており、通常1週間、長い場合は3週間ほど排泄されている場合があります。症状がおさまった後も感染を広げないよう注意が必要です。
◇発生事例…もちつきの返し水の管理不足、調理パンや手作りジュースの調理時の手洗い不足など。

腸管出血性大腸菌 O157

細菌が出す毒素は大腸を傷めるもので、感染しても無症状の人のもれば、小児や基礎疾患のある高齢者では3～5日後に血性の下痢、激しい腹痛など重症化する例もあり、早期に受診が必要です。



予防のポイント

①手・調理器具をよく洗おう

トイレの後、調理・食事の前に必ず手を洗いましょう。石けんを十分泡立て、指先や指の間などを丁寧に洗い、ウイルスをはがし落としましょう。さらに、すすぎを十分に行い、清潔なタオルやペーパータオルで拭きます。アルコールスプレーはO157の殺菌はできません。調理器具(まな板、ボウル、トンガなど)は加熱前の食材を扱った後、よく洗浄し、調理後の食品用とは使い分けましょう。

②二枚貝や肉類はよく加熱しよう

加熱用カキ、アサリ、シジミなど「生食用」と表示されていない二枚貝類は、海の水とともに取り込んだノロウイルスを体内に保有している場合があります。中心部まで加熱(85～90℃で90秒以上)してから食べましょう。半開きの貝では加熱不足です。また、牛などの家畜はO157などを保菌している場合がありますので、肉類は中心部まで十分加熱してから食べましょう。

③二次感染を防ごう

ノロウイルス感染者のおう吐物、下痢便などの汚物がついた物を処理する場合は、室内の換気をしながら0.1%次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)で10分間消毒することが感染を広げないために必要です。



としまライブハウス応援プロジェクト

LIVE MUSIC in Hareza

区内のライブハウスと協力し、
気鋭のアーティストによる上質なライブをお届けする5回シリーズ。



過去公演より



過去公演より

1月22日(金)

Shisui deux「新春レビューフェスティバル」

2月10日(水)

music BIGMAMA「music BIGMAMA15th ANNIVERSARY LIVE」

2月19日(金)

Apple Jump「立石一海トリオ+土屋絢子(ゲストボーカル)」

2月26日(金)

エル・チョコロ「喜多直毅クアルテット 池袋ネガフィルム」

3月19日(金)

Absolute Blue「JINO's School of Music Special Live」

●会場…としま区民センター多目的ホール

☎12月5日午前10時から電話でとしまチケットセンター ☎0570-056-777(午前10時～午後5時)へ。直接窓口申込み(午前10時～午後7時)も可。

公式ホームページ ☎https://www.toshima-mirai.or.jp/ から申込みも可。料金などの詳細はホームページ参照が問い合わせてください。

☎としま未来文化財団事業企画グループ ☎3590-7118(平日午前10時～午後5時)

「誰か」のこと じゃない。

～考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合う心～

12月4～10日は人権週間です



人権週間は、世界人権宣言の趣旨と重要性への理解を深める取組みを進め、人権尊重思想の普及高揚を図るために定められています。今後は、SDGs理念とも合致する、互いの人権を尊重し合う「心のバリアフリー」を推進し、支え合う共生社会を実現する必要があります。
人権問題を「誰か」のことではなく、自分自身のこととして捉え、相手の気持ちを考えることの大切さや違いを認め合う心を未来へつなげていきましょう。
☎総務課総務グループ ☎3981-4451

人権週間関連事業



●人権週間パネル展

12月7日(月)～10日(木)

午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

としまセンタースクエア(区役所本庁舎1階)

◇人権の大切さや人権問題を身近に感じるためのパネル展。性の多様性や障害者、高齢者、女性、子どもの権利を考えるパネルなどを展示します。

相談してください

法務大臣から委嘱されている人権擁護委員が、法務局とも連携しながら問題の解決と救済に取り組んでいます。

携帯電話人権相談

☎090-7206-2772

24時間365日、匿名で相談を受け付けています。

小・中学生の皆さんも気軽に相談してください。

人権身の上相談

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止しています。再開の際は、区ホームページなどでお知らせします。

☎区民相談課庶務・相談グループ ☎3981-4164



人権擁護委員が表彰されました

永年にわたり豊島区の人権擁護委員として活動に尽力された功績により、野本 美恵子氏、岡安 弘氏、木内晴一氏、田邊貞子氏の4名の委員が令和2年10月26日付で法務大臣表彰を受賞されました。

●夜間人権ホットライン(東京都人権プラザ事業)

☎6722-0127(相談無料)

12月8日(火) 午後5～8時

◇弁護士による人権相談、法律相談を電話で受付(1名あたり10分程度)。

☎(公財)東京都人権啓発センター(相談担当)

☎6722-0124、6722-0125

令和2年 豊島区この一年

1月

- 「Hareza 池袋で祝う成人式」実施
- 新教育長が就任
- GLOBAL RING THEATRE(池袋西口公園内)で映像クラシックコンサートにより冬のナイトライフを彩る



▲新ホールで祝う初めての成人式

2月

- 「トキワ荘関連施設整備寄附金」の感謝状贈呈式を開催。全国からの寄附が4億円を超える
- 手塚治虫直筆のトキワ荘天井板が豊島区に贈呈される

▶警視庁五方面記者クラブからトキワ荘天井板の寄贈を受ける高野区長



3月

- 「池本だんだん公園」「南池袋公園のトイレ」「雑司が谷公園」がリニューアル
- 東京海上日動火災保険株式会社・明治安田生命保険相互会社との「総合高齢社会対策、防災・安全、中小企業経営支援等に関する連携協定」を締結
- 「東アジア文化都市2019豊島」事業報告書が完成



4月

- 新副区長が就任(引き続き2名体制)

6月

- 税・保険料をスマートフォンから支払えるシステムを導入
- 都内初 中小介護事業者による事業協同組合が発足 設立にあたり区から補助金を助成

7月

- 「Hareza 池袋」全体開業
- 「トキワ荘マンガミュージアム」がオープン
- 「としまみどりの防災公園(IKE・SUNPARK)」のひろば部分がオープン
- 「東池袋自動車事故慰霊碑」を設置
- 「SDGs 未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に都内初でダブル選定される
- ワタミ株式会社と学童クラブ児童への配達弁当提供について事業協定を締結



▲Hareza 池袋エリアが完成



▲7月7日ついにオープン



▲東京初の快挙!



8月

- イケバス東西ルートの変更で区役所へのアクセス向上



▲9月にはIKE・SUNPARKに新たなバス停も設置された

9月

- 長野県箕輪町とカーボン・オフセット協定(森林の里親協定)を締結
- トキワ荘マンガミュージアムの来場者が2万人突破
- 小・中学生に一人1台タブレットPCを貸与開始
- 75歳以上の高齢者に困りごと相談のための往復はがきを送付
- インクルーシブ公園の視点を取り入れた「としまキッズパーク」オープン
- 豊島区公式ツイッター開始



▲都内でもトップクラスのスピードで一人1台体制を実現



▲池袋レッドで統一された園内で

10月

- 「としまSDGs都市宣言」および11月1日を「としま文化の日」とする「としま文化の日条例」が制定される

11月

- 「としま文化の日」記念式典を開催。「としま文化の日」制定を記念するとともに、第1回「豊島区文化栄誉賞」授賞式を実施
- 「としま文化応援プロジェクト」として区内で様々な文化イベントを開催
- としまみどりの防災公園(IKE・SUNPARK)の防災機能を強化
- スマートフォンの健康管理アプリを活用した実証事業をスタート



▲「としま文化の日」記念式典開催
式典ではとしまSDGs都市宣言も行った

12月

- としまみどりの防災公園(IKE・SUNPARK)がグランドオープンし、ファーマーズマーケットがスタート

今年周年行事をむかえた区立小学校・幼稚園

- 朝日小学校(70周年)
- 富士見台小学校(70周年)
- 清和小学校(70周年)
- 西巣鴨幼稚園(50周年)

新型コロナウイルス感染症に関する豊島区の動き

2月

- 帰国者・接触者電話相談センターを開設
- 区が主催するイベント等を中止
- 区立施設の休館等を開始

3月

- 区立小・中学校の臨時休校を開始

4月

- 新型コロナウイルス対策室を開設

政府、「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」を発令

- 区民相談専用ダイヤルおよび相談窓口を設置
- 豊島区PCR検査センターを設置

5月

- 新型コロナウイルス感染症対策の補正予算第一号が成立
- こころと体の相談電話設置
- 区内のPCR検査体制を強化
- 休校期間中の児童・生徒に対し、オンライン上にクラスルームを開設
- 区独自で妊婦の方にマスクを配布
- 東京都行政書士会豊島支部と事業者申請支援事業補助金交付に係る協定を締結
- 新型コロナウイルス感染症対策緊急資金の受付を開始
- 特別定額給付金の申請受付を開始

「緊急事態宣言」解除される

6月

- 『「コロナに負けるな!としま」医療・福祉支援寄附金」募集開始
- 区立施設を再開
- 区立小・中学校の分散登校を開始

7月

- 区立小・中学校の通常授業を再開
- 施設、小売店、飲食店などを対象に、豊島区感染拡大防止対策推進活動事業者として登録スタート
- 業種ピンポイントでのPCR検査を実施
- 新型コロナウイルス感染症対策等の補正予算第二号および第三号が成立
- 「池袋繁華街感染防止対策キャンペーン」を実施

8月

- 区独自にひとり親世帯緊急支援給付金を支給
- 特別定額給付金の申請受付を終了

9月

- 区独自に区内の障害者(児)サービス事業者、介護サービス事業者に特別支援金を支給

10月

- 新型コロナウイルス感染症対策等の補正予算第四号および第五号が成立
- 子ども関連施設等に勤務する職員のPCR検査を開始

12月

- 「文化の灯をともし続けるための新型コロナウイルス対策経費補助金」を新設
- 中小企業向けの感染防止対策費用補助金を新設